

大阪産業大学 研究シーズシート

研究シーズ テーマ	1. 「やさしい日本語」を通して知る日本語教育 2. アナタの知らない日本語・国語の世界探究			
分 野	1. 日本語教育 2. 日本語学・国語教育			
キーワード	日本語（国語）、日本語教育、言語文化、語彙や文法			
研究者名・職位	中山英治・教授			
所 属	国際学部 国際学科			
研究シーズ概要	1. 日本には定住する外国人や観光などで日本を訪れる外国人など、日本人と外国人との関わりや接点が増加しています。「外国人なら英語が必要？」というイメージは根強いかもしれませんが、実は簡単な日本語を外国人目線でわかりやすく使った方がコミュニケーションをうまく取れることがあります。仕事の現場でも、学校教育の現場でも「やさしい日本語」を知ることはいくつかの共生社会を実現する上でキーワードとなるでしょう。普段の日本語を「やさしい日本語」の観点から分析・研究してみましょう。 参考：大阪市「やさしい日本語」で話してみませんか？ (https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000510655.html) 2. 文化庁が行っている「国語に関する世論調査」（平成7年度～令和4年度）には、日本の社会情勢の変化に伴う日本人の国語に関する意識や理解の現状が報告されています。また、国立国語研究所では日本人や日本社会へ向けて、広くコトバの不思議な世界を公開しています。私たちが生きる上で欠かせないコミュニケーションのツールであるコトバをじっくりと観察して、日本語の実態を知り、職場でも学校でも日本語を駆使して生きる力にできる人材育成を考えてみましょう。			
進捗状況	着想・構想段階 基礎研究段階 実証段階			
連携研究の 範囲・方法	1. 職場や学校の生活の中で使用されている日本語の実態を知るために、日頃の話しているおしゃべりや報告書などの日本語を調査・分析します。 2. 国語世論調査や国研のHPにある言語資料等を題材にして解説、職場や学校において、日本語に関するワークショップを行います。			
用途・効果 ・市場	1. 「やさしい日本語」を使って外国人の方々とのコミュニケーションが促進されます。また、日本人の日本語を見直し、日本語の運用能力を検証・育成します。 2. 職場なら仕事をするうえで欠かせないコミュニケーションの促進、学校なら国語や言語文化に関する知識や情報を広げられ、コトバを生きる力にできます。			
研究者の 業績等	以下の中山英治に関するページをご参照ください。 https://researchmap.jp/read0055767 https://kenkyu-s.osaka-sandai.ac.jp/cvclients/researchers/read0055767?frame_id=303			

連絡先	大阪産業大学 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室 TEL : 072-875-3001（内線 2816・2809） FAX : 072-875-6551 E-mail : sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp
-----	---